

# 教育と文化



コロナ禍で見えてきた格差

『男』『女』ではなく、人として関わりを

● 問合先 企画政策課

男女協働推進係(☎2115)

今年、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、非常に多くの数の感染者や患者が発生したことが、我々に大きな影響を及ぼしています。罹患による命の危機はもちろんのこと、日常生活の活動自粛の長期化は、経済に大きなダメージを与え、ともに、世界のひずみが拡大したことにより、さまざまな格差も顕在化しました。経済格差、人種格差、国家間の格差、そして男女格差です。

幼い子どもが学校や保育園の臨時休校・休園で学校などに通えないという理由から、『母親』が退職する。テレワークで夫が家に居るにも関わらず、家事の負担ができない。あるいは、一緒に過ごす時間の増加がストレスとなった。『コロナ離婚』となった。また、仕事に行けないなどの活動自粛によるストレスからDV(ドメスティック・バイオレンス)に走る。

こういったケースの多くは、女性が被害者になっており、DVについては世界保健機関(WHO)からも世界中へ警告のメッセージが出されました。

近年、我が国でも男女共同参画が叫ばれ、まだ国際的にはレベルが低いものの、一昔前と比べれば、少しは前進したように受け止められがちですが、このような非常時になると、潜在的に改善されない問題が噴出します。

With コロナと言われる、生活形態も変貌していく中、『男だから』『女だから』ではなく、人としてどのように関係を構築していくべきなのか、改めて意識改革を進める必要があります。

生活形態も変貌していく中、『男だから』『女だから』ではなく、人としてどのように関係を構築していくべきなのか、改めて意識改革を進める必要があります。



## 郷土の文化財

伊万里の城館跡シリーズ 最終回

● 問合先 生涯学習課文化財係(☎1262)

### 伊万里の中世城館跡

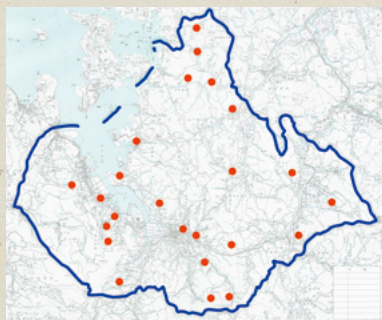
このシリーズでは、これまで24の城館跡について紹介してきました。

市内の城館跡に関する文字資料は、後世に作成されたものが多く、当時の記録は非常に少ないのが現状です。

しかし、伊万里の城館跡は、県内の他市町に比べて分布の密度が非常に高く、この地域で数多くの領主が割拠していた中世の社会情勢をよく表しています。また、城跡にまつわる地名や言い伝えも残されており、今日まで地域の歴史を物語る遺産として残り続けてきました。

今後も、地域の歴史を未来に残していくため、地域の皆さんで、城跡や城跡にまつわる歴史について語り継いでいきましょう。

次回から、市内の遺跡で確認された埋葬事例について紹介する新シリーズを開始します。



↑これまでに紹介した城館跡の分布図

これまでに紹介した 24 の城館跡

- |       |        |
|-------|--------|
| 木場城跡  | 伊万里城跡  |
| 筒井城跡  | 地北祇園城跡 |
| 畑津城跡  | 今岳城跡   |
| 法行城跡  | 道祖瀬城跡  |
| 本城跡   | 大川内岳城跡 |
| 新久田城跡 | 水無城跡   |
| 日在城跡  | 飯盛城跡   |
| 山口城跡  | 楠久城塞跡  |
| 姥ヶ城跡  | 里館跡    |
| 川原城跡  | 鹿山城跡   |
| 牧島城塞跡 | 和田城跡   |
| 木須城跡  | 吉野城跡   |